

## 分科会 5 まとめ

### 1 コーディネーター

伊藤真知子

### 2 参加者数

10名（宮城県2名、山形県7名、福島県1名）

### 3 テーマ

女性リーダーが輝く地域づくり

### 4 ディスカッション内容

地域団体の長を長年務めた方から、会社員、大学院生など、幅広い年代の多様なメンバーが集まった。自己紹介の後、コーディネーターから課題提起を行い、山形県は町内会（自治会）長・PTA 会長の女性割合が全国最下位に近いといった状況である。町内会等だけでなく、地域における女性リーダー、リーダーシップについて皆さんで考えてみたい。これについて、さまざまな意見が出された。

- ・地域では、目立つと叩かれる。
- ・副会長の女性が次の会長になることを周囲が（とくに男性が）支える必要。
- ・山形の PTA には「母親委員会」があり、他県から来た人が驚く。
- ・仕事と子育て等で手一杯で地域活動への参加が難しい。女性だけでなく、若い世代の地域参加の課題だ。
- ・仕事で要職を務めた女性が、退職後地域で活躍するようになるのではないか。
- ・チームで仕事をする際には、部下のことをよく知り、個々の能力を引き出すリーダーが求められる。
- ・日頃からコミュニケーションをとり、各人の強み・弱みを把握して仕事を振り、当事者として活躍してもらうことが大切。

以上から、今後の展望を次のようにまとめ、共有することができた。

- 地域は異業種交流そのもので、仕事で経験を積んだ女性の活躍を増やしていくことができるはずである。
- チーム力を上げるリーダーとして、目標を共有し、メンバーの話を聴き、力を引き出すリーダーが必要になっている。
- コミュニケーションをとる新しいタイプのリーダーをめざすことを心がけよう。